

2025年1月

保護者の皆様

町田市立町田第二小学校

校長 卜部 敦彦

## 2024年度 学校教育に関する保護者アンケートについて

初春の候、保護者の皆様には益々ご清祥のことと存じます。いつも本校の教育活動にご協力いただきましてありがとうございます。

さて、12月に行いました学校評価について下記のとおり報告をさせていただきます。アンケート結果、並びにいただきましたご意見・ご要望に関しては、真摯に受け止め、励みにし、全教職員一同一層努力して参ります。

記

### ア 開かれた教育課程の実現に関すること

アに関する項目として以下の4つの質問を行いました。

【学校は、地域人材を積極的に活用した教育活動を行っている。】

【学校は、地域と一体となって子どもたちを育てている。】

【学校は、保護者や地域の方に対して情報発信をしている。】

【学校は、保護者会や学校公開、学校行事などで、教育活動を公開している。】

上記の開かれた教育課程の実現に関する4つの質問すべてにおいて、8割以上の肯定的な評価をいただきました。本校では、お店見学や芋ほり体験、ゲストティーチャーを招いた授業などを実施することができました。これも、地域や保護者の皆様の温かい支援やご協力あってのものと感じております。今後もホームページの充実や学校公開を行い、子どもたちの学習を地域や保護者の皆様にご覧いただくとともに、地域と一体となって教育活動を進めていきたいと考えております。引き続き、ご協力のほどお願い申し上げます。

## イ 確かな学力の育成に関すること

【お子様は、学校ですすんで読書をしている。】

この質問に対して、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した保護者の割合は、約5割程度でした。一方で「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」と回答した保護者の割合は、約4割でした。これらの割合は昨年度とほぼ同様の結果でした。

【お子様は、ICT（学習機器）を積極的に活用している。】

この質問に対して「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した保護者の割合は、8割5分を超えました。

上記の二つの質問の結果から子どもたちの多くは、入学時からクロームブックを中心としたICT機器に慣れ親しみ、活用する資質能力が養われてきています。しかし、ICT機器を使用する時間が増えた反面、本に触れる時間が減ってきているのではないかと考えます。今後は、クロームブックを用いた指導を充実させつつ、休み時間に図書委員会を中心とした図書室利用の充実や隙間時間を活用した読書の励行など、子どもたちが読書の時間を増やせるように努めていきます。

## ウ 豊かな心の涵養（心の教育及び生活指導を含む）

【お子様は、ICT、スマートフォンなどによるネットマナーが身に付いている。】

この質問に対して「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した保護者の割合は約7割程度でした。

昨今の子どもたちを取り巻く状況を鑑みると、大人の目の届かないネット環境において言葉の行き違いがいじめにつながったり、トラブルに巻き込まれたりする可能性は今後ますます高まっていくと考えられます。

学校としても、情報モラルやネットリテラシーに関する指導を行っていきますが、情報社会に生きる健全な子どもたちの育成の実現のためには、保護者の皆様のご協力も不可欠と考えています。子どもが情報機器を使用する際には、「家庭でのルール」を今一度確認し、適切な使用をできるようにお願いします。

保護者の皆様からいただいたご意見を基に、今後の教育活動の改善につなげていきます。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

今後とも、本校の教育へのご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。